

「オレンジロードつなげ隊」による 圏域ごとの普及啓発の実施について

■ オレンジロードつなげ隊とは

地域で認知症の支援を行っている人を組織化した認知症の**普及啓発**の企画・実働部隊

<構成メンバー>

キャラバンメイト、介護事業所職員、地域で活動する人(自治会、民生委員、PTAなど)等
→ 各圏域20名程度のメンバーで構成し、5名程度のチームで各地域のイベント等へ
出向き普及啓発を行う。

<実施主体 > 京都府・地域包括ケア推進ネット(全ての保健所)

<活動内容>

- 地域イベントを活用した啓発
(ex.地域イベントやスポーツ大会、健康福祉関係のイベント等)
- 人が集まる場所での啓発
(ex.スーパーやショッピングモール、図書館等の公共機関)
- 地域団体・地域資源と連携した啓発
(ex. 老人会、自治会、学校、サポート企業等と連携した取組)
- 府民講座等の開催による啓発
- その他地域特性に応じた啓発

<啓発内容>

誰もが発症する認知症という疾病観の普及

セルフチェックシートを活用した簡易的な認知症チェック

コールセンターや疾患医療センター等の相談先に関する情報提供

認知症の基礎知識等の啓発

圏域企画会議の開催

- 地域での活動方針、戦略的な啓発活動の企画、実施に係る調整
- 認知症啓発に必要な勉強会

<養成研修・フォローアップ研修>

- 養成研修 (事業趣旨、認知症啓発の意義、地域で支える仕組み、先進事例)
- フォローアップ研修 (認知症啓発に係る企画立案)

<設置時期> 平成26年9月(予定)